

9月10日は下水道の日

下水道の整備、役割、しくみについて、お知らせします。

問 下水道課 ☎2602

下水道の整備

昭和49年に、市の下水道工事に着手し、その後、昭和58年に終末処理場が処理を開始したことに伴い、同時に下水道の供用を開始しました。

また、下水道工事は、市内に6カ所ある流域下水道接続点から上流へと下水道管を順次、埋設していくものです。

そのため、下水道が使える区域は、流域下水道の接続点から広がっていきます。

※流域下水道とは、2つ以上の市町村の下水を処理するために、都道府県が設置する大規模な下水道です。

下水道の役割

○美しい自然を守ります

汚れた水をそのまま川や海へ流すと、豊かな美しい自然や都市の環境は破壊され、水利用にも大きな支障が生じます。

自然から得たきれいな水は、再び、もとの状態にして自然に返すことが大切です。

下水道は、循環型社会に欠かせない施設です。

○住みよい環境をつくります
下水道が整備されると、家

庭や工場からの汚れた水を速やかに排除し、悪臭やハエ・蚊の発生しない、衛生的で住みよい街になります。

下水道のしくみ

下水道(汚水)は、管きよ、ポンプ場および終末処理場の3つの施設から成り立っています。

○管きよ

主に、道路に埋設している管で、鉄筋コンクリート、塩化ビニールなどでできています。

管きよは、家庭や工場からの汚れた水を終末処理場まで流すための施設で、維持管理ができるように、必要な場所にマンホールを設置してあります。

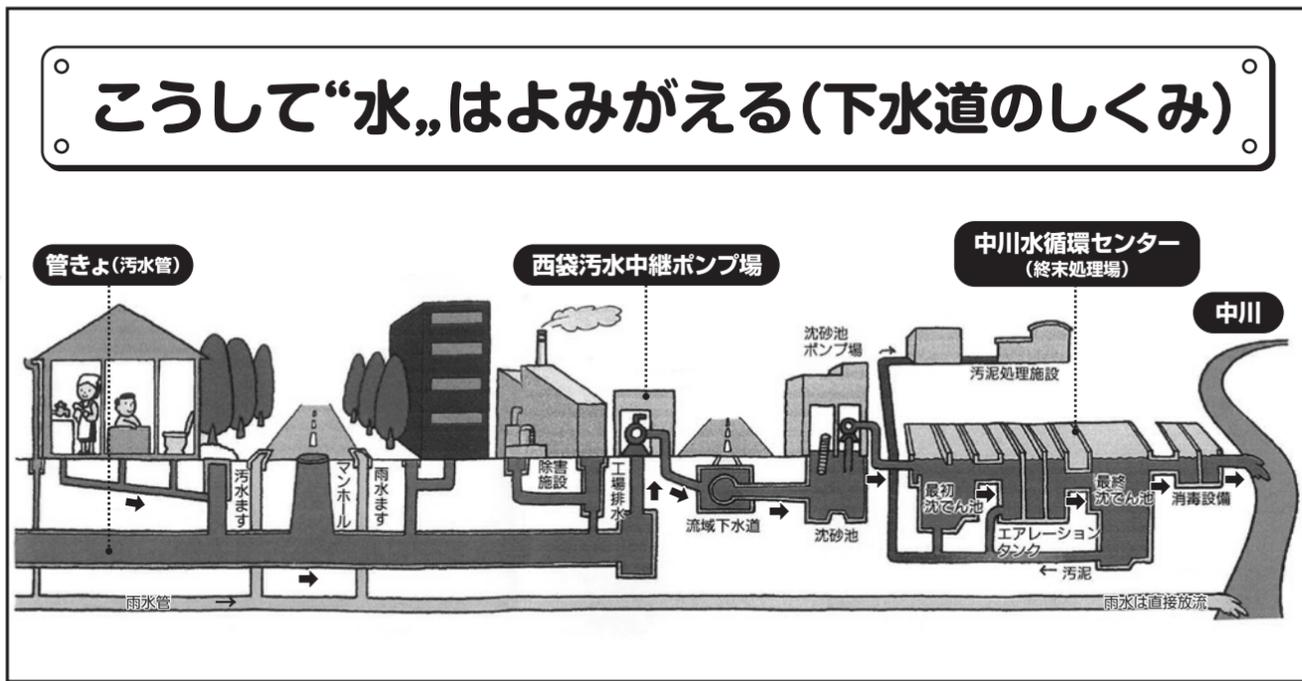
○ポンプ場

下水は、自然流下で流れており、徐々に管の埋設位置が深くなるため、下水を地表近くまでくみ上げる施設です。

市では、八潮八丁目に西袋汚水中継ポンプ場があります。

○終末処理場

管きよで集められた下水をきれいにするための施設です。市の下水は、三郷市にある中川水循環センターで処理されて中川に放流しています。



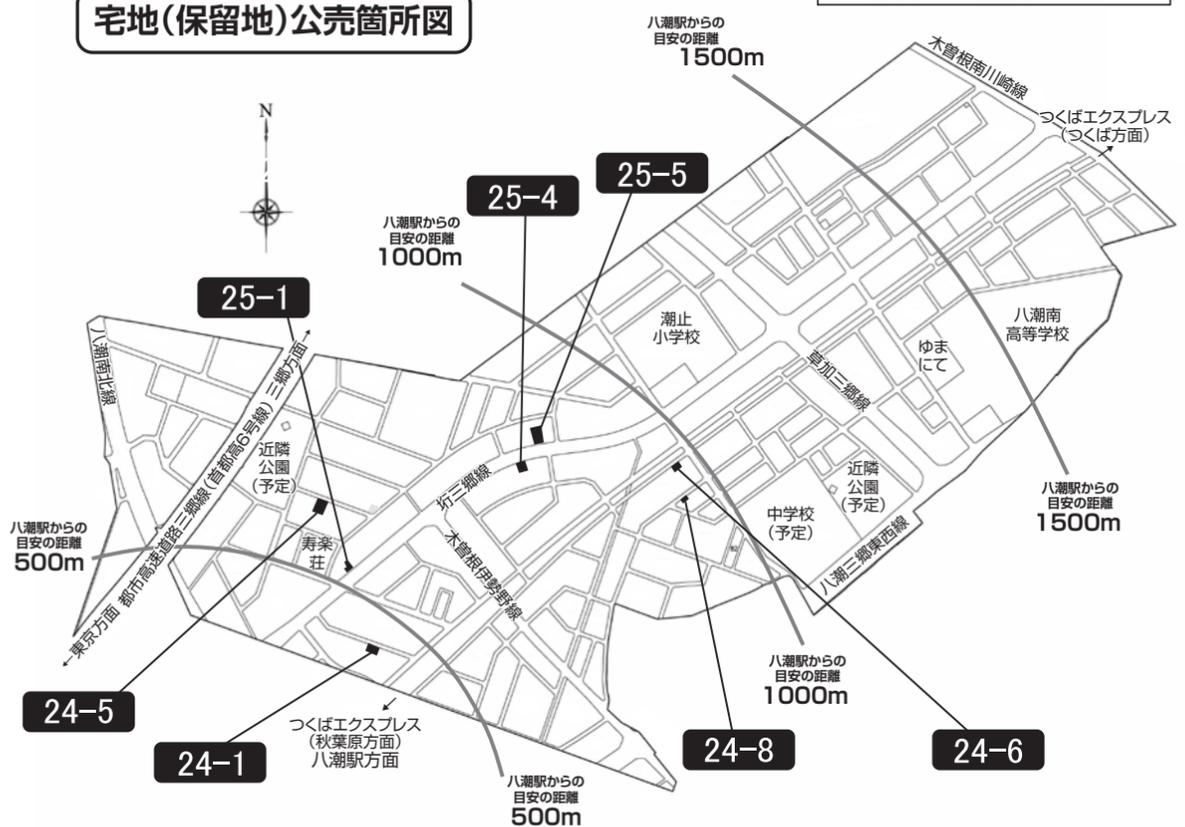
こうして“水”はよみがえる(下水道のしくみ)

八潮南部東地区宅地(保留地)公売中!

市では、宅地(保留地)を公売しています。現在、販売中の宅地(保留地)は、つくばエクスプレス八潮駅まで徒歩6分から12分程度と立地条件が良く、また、首都高速道路三郷線の八潮ランプまで、車で2分程度と交通アクセスも良好な地域です。

【公売方法】 先着順
【申込先】 TX八潮駅東地区宅地販売センター
☎0120-17-8404
※土・日曜日、祝日を除く、午前10時から午後5時まで

宅地(保留地)公売箇所図



宅地(保留地)公売箇所一覧表

整理番号	公 売	
	面積 (㎡)	価格 (円)
24 - 1	311	45,406,000
24 - 5	453	53,454,000
24 - 6	185	26,640,000
24 - 8	109	16,568,000
25 - 1	174	27,144,000
25 - 4	256	42,240,000
25 - 5	460	77,740,000

※9月2日現在の情報です。最新の情報は、市ホームページをご覧ください。